
濁流

百々タケル

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

濁流

【Nコード】

N6109M

【作者名】

百々タケル

【あらすじ】

寂しくて

空しくて

でも、言葉に出来ない

日々、自分の生きる意味を考える

【澪】が会おう人との話

(1)

桐谷 漣、26歳

性別は女

調理師免許アリ

居酒屋を経営

酒が好き

甘い物が好き

人付き合いは良いほう

酒癖は悪い

男がキライ

女が好き

でも人間がキライ

だから動物が好き

…私自身がどういう人間か

人に分かって貰う為に説明しなければならぬとして
それ位しか言葉が思い付かない

それ程に私自身は薄っぺらくつまらない人間であり
逆に人を知るのに言葉じゃ足りないとも言える
付け加えるなら【処女である】

それともう一つ

【死にたいと思っている】

(2)

朝、カーテンを開けて外を眺めるのが好き
皆急いで駅へと向かう

それが何だか働き蟻のように思えて
心底面白くなり、そして気持ち悪くなる

黒いスーツに黒い制服

揃いも揃って黒ばかり身に纏い

ちんたら動く満員電車で揺られる

その後待ち受けてるのは良い事ではない筈なのに
良く毎日同じ行動が取れるんだろう

学生は、【皆の輪】という物から

はみ出さない様に相手の顔色窺って

昨日のドラマや人気俳優の話で盛り上がりたり？

社会人は8時間労働の後に残業が待っていて
上司の嫌味や同僚との腹の探り合い？

あーヤダヤダ

毎日毎日そんな事やってられるのは一種の才能だね

「私だったら耐えられないなあ……」

だから私は降りました

黒いスーツに黒い制服、どれも着たくなくて

可愛い服着て腰掛け入社、寿退社

そんな器用な事が出来る訳でもない

(そもそもするつもりもないけれど)

僅かな友人集めて居酒屋開いて

（仕事終りの働き蟻の収容所と化しているけれど）

私好みの可愛い子にはこっさりサービス

働きたくなきゃ働かない、だから不定休

決められてるのは気に食わない、だからメニューもない

そんな生活が私に合ってる

でも、このまま死ぬのが怖い

人を死ぬ程好きになつてみたい

そうでなければ死んでしまいたい

毎日毎日、その事ばかり考えてる

何かの本で読んだ記事に

【誰からも愛されないとと思うのは自分自身を愛してないからだ】
と、書いてあった（ような気がする）

嘘もウソ、大嘘だね

だって私は私を愛している

だから誰か、私を心から愛して欲しい
そうしたら私も愛すのに

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6109m/>

濁流

2010年10月9日07時57分発行